

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぼんはうすさくら 盛岡本宮教室 (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	令和8年1月11日	～	令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35件	(回答者数) 22件
○従業者評価実施期間	令和8年1月11日	～	令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8件	(回答者数) 8件
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月3日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>経験豊富な職員、専門知識のある職員が在籍している。</li> <li>発達状況に合わせたプログラムを考え、一人ひとりに添った支援をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>同じプログラム実施でもそれぞれの児童の発達に合わせたアプローチをしている。</li> <li>達成感を感じることで自信や意欲につなげるため、手伝いを加減しながら、できるところまで導いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、支援会議にて計画を全員に周知して支援方法を確認し、共通理解の下で支援に当たる。</li> <li>朝礼や活動前の時間に、その日の進め方や役割の打ち合わせをし、送迎から戻った職員にも必ず共有する。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園や公共施設が充実していて、外出活動の場が広がっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用人数や天候によりプログラム活動内容を変更し、安全に楽しめるような支援を心がけている。</li> <li>公共施設等への活動を積極的に取り入れ、地域交流や児童の経験につなげている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>室内、屋外の活動のバリエーションが増やせるよう、職員間でアイデアを出しながら、引き続きチーム全体で取り組んでいく。安全性や必要性を考えて、必要な物品については購入を検討する。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>土日祝日も営業している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園行事や家庭の事情により利用できない場合、レギュラー曜日以外の日に振替利用を受けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>レギュラー曜日、振替利用日でなくても、家庭の事情によって養育が難しい際は、定員に空きがある場合は受け入れる。</li> <li>それにより職員配置のための勤務調整をする。</li> </ul>

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>シフト制の勤務となっているため、全員揃っての会議や打ち合わせの時間を取るのが難しく、情報共有に時間がかかる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出勤日や出勤時間のずれにより、同じタイミングでの会議開催、打ち合わせや振り返りの実施が難しい。(空き時間を利用するなど、職員間の情報共有には務めている。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>会議日に合わせて出勤職員を多くするよう勤務調整をし、会議等への参加率を上げる。</li> <li>会議や打ち合わせ内容は記録を残し、全職員への回覧、周知を行う。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部研修の受講が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他業務との兼ね合いにより時間の確保が難しいため、受講につながりにくい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修受講予定日を予め確認し、研修受講で不在になる職員数を補える職員配置を考慮して、勤務表を作成する。</li> <li>職員一人ひとりが研鑽に努めようとする意識の向上。</li> </ul>
3			

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぱんはうすさくら盛岡本宮教室（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 11日		2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40名	(回答者数) 31名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 11日		2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 12名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 3日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な職種の経験豊富な職員が多く在籍していることにより、プログラムの内容の充実、個々への支援や専門的な支援が行えている。	プログラム活動では、「やってみたい」「どんな遊びかな」と期待しながら、意欲的に取り組めるようアプローチを変えながら進めている。	学校での様子や体調等も考慮しながら、「出来た」「次は頑張るぞ」など、やる気、意欲が持続するよう進めていく。
2	活動や宿題、日常生活の中で、難しい場面では個別に対応している。	その日の様子や苦手なことを把握しながら、難しい所にアドバイス、介助出来るよう、職員を配置している。	出来る部分は自分で取り組めるよう、情報共有しながら自立に向けた取り組みを続けていく。
3	保護者様、学校の先生、他事業所の職員と情報共有しながら、柔軟に対応している。	送迎時や電話、リトム等で、その日の様子や今取り組んでいること、課題等を共有するために積極的にやり取りを行っている。	今頑張っていること、出来たことなどを、保護者様にお伝えし、自分で出来ることが増えていこう、ご家庭と一緒に進めていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流や連携が少ない。	居住地が様々であり、全ての地域との交流や連携が難しい。	事業所がある地域のイベント等の情報収集を行いながら、参加出来るよう企画していく。
2	学休日に戸外で十分に身体を動かして遊べるスペースがない。	利用の人数や年齢等を考慮すると、駐車場だけでは狭い。	通常時よりも人員配置が必要となるため、プログラム案作成時やイベントがあった際に検討していく。
3			